

第二日目

師 範：中国では長く栄えた漢〔後漢〕がほろんで、魏(ぎ)、呉(ご)、蜀(しょく)という三国が対立するようになりました。



邪馬台国(やまたいこく)の女王卑弥呼(ひみこ)は、魏の王に貢ぎ物をもたせて使いを送り、「親魏倭王(しんぎわおう)」ときざまれた金印と銅鏡などの宝物をあたえられ、倭国の王と認められるようになりました。

これが紀元239年のことでした。

これは魏の歴史書に書かれているが、ほかに邪馬台国にいたる途中のいろいろなことや国々のことも書かれています。

発掘された遺跡から裏付けられている国がいくつかあります。

239年 卑弥呼は魏に使いを送り、「親魏倭王」とされた。

この年を覚えましょう。

ペン太：先生



「卑弥呼の文来る魏の国へ」

と考えました。

「文」は「ふみ」と読んで23,「来る」は「く」で9を表します。

あわせて239年に卑弥呼が魏の国に使いを送ったということを言いました。

師 範：よいでしょう。

コン太：ペン太君とほとんどいっしょになってしまった。

「卑弥呼から文来る国は三国の魏」



発想を変えて

「ひみこ」を

「ふみこ」

と読んでしまえば簡単だけどね。

「ふ」は2,「み」は3,「こ」は9だからね。

師 範：邪馬台国は女王と男王のふたりで治めていたといえます

卑弥呼は巫女〔みこ〕と言われるように、まじないや祈りをよくしました。

ある学者は、女性の「みこ」と男性の「ひこ」がいたと言っています。このことが言葉の中に残っているとも言っています。

ところで、小野妹子〔おののいもこ〕は女性か男性か、どちらですか。

この「子」は男性用の呼び方「ひこ＝彦」の「ひ」がとれたものと考えられています。だから小野妹子さんは男性です。蘇我馬子という人もいましたね。